

令和4年度第1回住吉区区政会議

令和4年6月28日（火）

【新熊（司会）】 定刻となりました。ただいまより、令和4年度第1回住吉区区政会議を開催いたします。

本日はお忙しい中、住吉区区政会議に御出席をいただき誠にありがとうございます。本日、司会を務めさせていただきます政策推進課長代理の新熊でございます。どうぞよろしくをお願いいたします。

それでは、開催に当たりまして、住吉区長の平澤より御挨拶を申し上げます。

【平澤区長】 皆さん、こんにちは。区長の平澤です。平素より住吉区政に御理解、御協力いただきましてありがとうございます。

本日、久しぶりに区政会議として成立いたしましたので、非常にほっとしております。といいますのは、過去2回ほど、なかなか人数が集まらずということで、一応意見を聴取する場ということでは開催はさせていただいたんですけども、区政会議ということでは不成立が続いておりました。委員に欠員も生じておりましたが、今回フルメンバーがそろいましたので、今後活発な議論を進めていければと思っております。本日も忌憚のない御意見をいただきますようよろしくお願いいたします。

【新熊（司会）】 会議を始めるに当たりまして、皆様方にお願いがございます。この区政会議は条例に基づく会議となっております。後日、会議録等を公開いたします関係上、録音並びに写真撮影をさせていただきますので、御了承いただきますようよろしくお願いいたします。

また、傍聴の皆様には、受付でお渡しいたしました遵守事項をお守りいただきますようよろしくお願いいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症対策としまして、会議開催中はマスクを常時着用していただくとともに、会議中、マイクを通して御発言いただく際には、できるだけマイクを口元から離して発言いただきますよう、よろしくお願いいたします。

続きまして、市会議員の皆様におかれましては、条例第8条に、「区政会議における議論に資するために必要な助言をすることができる」と規定されております。本日、お見えになられております市会議員を御紹介させていただきます。伊藤議員。

【伊藤議員】 皆様、こんばんは。久しぶりだということなんですけれども、どうぞよろしくお願ひいたします。

【新熊（司会）】 ありがとうございます。

次に、区政会議委員の交代がございましたので、御報告させていただきます。

住吉区青少年指導員連絡協議会の久保委員に代わりまして荻野委員、住吉区PTA協議会の栗田委員に代わりまして桶土井委員、住吉区地域振興会の今西委員に代わりまして佐藤委員、住吉区商店会連盟の北橋委員に代わりまして田中委員、住吉区子ども会育成連合協議会の林委員に代わりまして南委員です。

なお、本日、荻野委員におかれましては、所用により欠席となっております。

また、公募によりまして、新たに、区政会議委員として、谷山委員、浜田委員、梶野委員、山本委員が御就任されました。

それで、今回新たに区政会議委員となられた皆様より一言ずつお願ひしたいと思ひます。すみませんが、まずは桶土井委員、よろしくお願ひいたします。

【桶土井委員】 住吉区PTA協議会会長の桶土井です。よろしくお願ひします。

【新熊（司会）】 ありがとうございます。

次に、佐藤委員、よろしくお願ひいたします。

【佐藤委員】 荻田北ほほえみ協議会の佐藤です。よろしくお願ひします。

【新熊（司会）】 ありがとうございます。

それでは、次に、田中委員、よろしくお願ひいたします。

【田中委員】 失礼いたします。住吉区の商店会連盟の田中と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

【新熊（司会）】 次に、南委員、よろしくお願ひいたします。

【南委員】 皆さん、こんばんは。子ども会の南といいます。よろしくお願ひいたします。

【新熊（司会）】 ありがとうございます。

続きまして、公募委員から、谷山委員、お願ひします。

【谷山委員】 地下鉄あびこ中央商店街の事務局の谷山と申します。よろしくお願ひいたします。

【新熊（司会）】 ありがとうございます。

続きまして、浜田委員。

【浜田委員】 浜田と申します。今回公募で応募しました。今日より参加させていただきます。よろしくお願いいたします。

【新熊（司会）】 ありがとうございます。

次に、梶野委員、お願いします。

【梶野委員】 NPO法人すみよし歴史案内人の会の理事長を務めております梶野と申します。よろしくお願いいたします。

【新熊（司会）】 ありがとうございます。

次に、山本委員、お願いします。

【山本委員】 皆さん、こんばんは。山本と申します。ふだんは別の市で市役所の職員をやらせていただいております、兼業で一般社団法人のH I T O T Oというところの代表理事をさせていただいております。よろしくお願いいたします。

【新熊（司会）】 ありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

ここで、井上議員が来られておりますので、御挨拶をお願いいたします。

【井上議員】 市会議員の井上でございます。遅参いたしまして申し訳ございません。どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

【新熊（司会）】 ありがとうございます。

ここで、本日の委員の出席状況ですが、委員定数24名のところ、現在16名御出席いただいております。条例第7条による定足数であります定数の2分の1以上を満たしていることを御報告させていただきます。

本日の区政会議は、新型コロナウイルス感染症対策としまして、議事を速やかに進行し、開催時間を極力短くさせていただきたいと考えておりますので、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

それでは、本日の進め方を御説明いたします。

まずは、お手元の次第の3、報告事項から、1点目の「令和3年度第3回住吉区防災専門会議」、2点目の「令和3年度第3回住吉区総合教育会議」につきましては、会議の概要について御報告をさせていただきます。

次に、4、協議事項の「令和3年度住吉区運営方針の振り返りについて」では、時間の関係上、全ての項目に関する御説明は割愛させていただきますが、具体的取組において、プロセス指標が未達成となっている部分につきまして、担当から御説明させていただきます。

なお、事前の委員からの御意見等はございませんでしたが、各担当からの御説明後に、改めて質疑の時間を設けさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

また、その後に、次第には記載はございませんが、以前の区政会議委員におきまして、「テーマを決めず、より自由に委員が区の課題だと考えていることについて発言できる時間があってもよいのでは」という御意見がございまして、その御意見を踏まえまして、次回以降の区政会議で議論したいテーマの検討を、時間を取りまして、運営方針における取組や委員の皆様が関心、興味を持った内容で、今後の区政会議において議論したいと思うテーマについて、皆様の御意見をいただく時間を設けさせていただきたいと考えております。

それでは、続きまして、本日の資料の確認をさせていただきます。

お手元に資料がございますが、資料右上に番号をつけております。配付資料①から⑥まで、資料はございますでしょうか。

配付資料の②につきましては、以前、郵送等で6月1日現在の名簿をお渡ししているところですが、今回、新任委員のお名前を入れた最新のものとなっております。本日現在の委員の名簿となっておりますので、よろしくお願いいたします。

また、配付資料の⑥につきまして、事前の送付が間に合わず、この場で初めて御提示させていただく資料となっておりますが、基本的には配付資料の⑤にある運営方針から抜粋した内容で、プロセス指標が未達成の箇所の一覧となっております。

お配りしている資料は以上となります。足りない資料等はございませんでしょうか。

それでは、以降の区政会議の議事進行を辻野議長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

【辻野議長】 大阪公立大学の辻野と申します。区政会議の議長をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

私もまだ1年終わったばかりのところですので、地域住民でもないので、地元のことや暮らしに詳しいわけではないんですけれども、今回新しい委員の方々に加わっていただきましたので、名簿を御覧いただいたら分かるんですけれども、実に多様な皆様がお集まりいただいて、先ほど、公募の方が随分大勢おられて、住吉区は非常に区政に関心がある方が多いということは非常に心強いなと思っております。コロナの関係もあるので、8時までという時間の制約があるんですけれども、意見を言わないでくださいじゃなくて、どんどん意見を言っていただきたいということがあるので、遠慮して発言しないでおこうかな

と悩む時間を短縮していただいて、思ったことはすぐに言っていただくということをお願いしたいなと思います。ぜひいろんな御意見を忌憚なくお話しいただけたらと思いますので、どうかよろしくお願ひします。

まず最初に、説明が区役所の方からございますので、その後に意見、質問等をしていくという順番になっています。よろしくお願ひします。

それでは、議事に入っていきます。

報告事項からになりますので、最初に区役所の方から説明をお願いします。

【小林地域課長】 地域課長の小林と申します。日頃からお世話になりありがとうございます。

私の方から、報告事項1点目、「令和3年度第3回住吉区防災専門会議」について御報告させていただきます。

お手元配付資料の③番を御覧ください。

資料中段にあります。6、議事要旨のところを御覧ください。

報告事項は3点でございます。1つ目、令和3年度第2回防災専門会議での意見に対する対応方針についてでございます。災害時にコミュニティ放送局を活用した情報伝達や、福祉専門職を活用した個別避難計画の作成などの御意見をいただきまして、効果的な方法を検討する旨の対応方針を説明させていただきました。

2点目といたしまして、令和3年度第3回区政会議における防災に関する意見要旨についてでございます。災害時要援護者への取組として、きめ細かな情報伝達方法や福祉施設との連携について、引き続き地域や福祉施設と調整していく旨の説明を行っております。

委員の方々より、好事例があれば公開し、ほかの地域や施設へも広げていくことが重要であると、御意見を頂戴したところでございます。

3点目といたしまして、令和3年度住吉区総合防災訓練実施結果につきまして、コロナ禍を考慮しました町会一時避難場所や災害時避難所における訓練結果やアンケート結果の報告を行いました。

裏面を御覧ください。

また、その中で、地域ごとのアンケート結果等についても、地域において説明を行わせていただいたところでございます。また、クラウド型情報システム「iisumi」と呼んでおるんですけれども、その具体的な集約方法を教えてほしいという御意見に対しまして、医師会、薬剤師会、歯科医師会、福祉避難所、訪問看護ステーション、災害時避難所から

一斉に入力した情報をGoogleマイマップというものに区の対策本部で取り込みを行うことで、開院状況や被害状況がマップ上で可視化できるというものの説明をさせていただきました。

次に、議題としては2点ございまして、令和4年度住吉区総合防災訓練の実施概要についてというものでございます。今年度11月の第2土曜日、11月12日を予定しておるところでございます。

土曜日は参加できない人もいるので、日曜日に変えてはどうかという御意見に対しまして、訓練の定着化ということと、避難所等各施設との日程調整の関係上、曜日の変更は今のところ難しいという回答をさせていただいています。ただ、地域における訓練などは日曜日などで実施いただきたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

また、今後に向けて、日程のアンケートを取るなどしてはどうかという御意見もいただいておりますので、調整をさせていただきます。

訓練の内容ですけれども、3時間ではなかなか時間が足りないなという御意見であったり、地域と福祉施設との役割分担等をしっかりできるような訓練も検討していきたいという御意見を頂戴しております。

2つ目といたしまして、大和川氾濫等の水害に備えた防災強化アクションプラン（第2期）の策定についてでございます。その中で、ハザードマップの配色が分かりにくいので、もう少し分かりやすい色分けにできないのかという御意見を頂戴しました。しかしながら、大阪市では、国の水害ハザードマップ作成の手引きに基づいて、同色を活用しておりますので、今のところ変更は難しいという回答をさせていただいています。

また、もう1つ、災害時避難所の備蓄物資について、浸水が起こったときに、2階以上に上げるような工夫が必要ではないかという御意見をいただいております。かなりのところは2階以上に上げておるんですけれども、施設の関係で上げられないところもございまして、今後、地域や施設の管理者の方々と協議の上対応させていただく旨、報告をさせていただきました。

私の方からは以上です。

【辻野議長】 このまま続けて御報告いただくということにいたします。

【山田教育文化課長】 教育文化課長の山田でございます。

私の方から、報告事項2点目、「令和3年度第3回住吉区総合教育会議」について御報告をさせていただきます。

4の議題から進めさせていただきます。

この教育会議で話し合いましたテーマですが、住吉区における主な教育・子育て関連事業でございます。令和3年度事業の振り返りと令和4年度事業について報告をいたしました。それから、2番目、こどもサポートネットの取組から見えてきた地域資源との連携についてお話を伺いました。3番目、令和4年学校図書館活用推進事業体制（案）及びスクールカウンセラーの実施体制について御説明申し上げました。

これらの議論のポイントを5のところで御説明させていただきます。

(1)に関しまして、スクールソーシャルワーカーの配置について御意見を聴取いたしました。

いただいた御意見ですが、スクールソーシャルワーカーの配置が充実してきて大変ありがたい。学校で子どもたちと日々関係を築いている教職員の対応が一番大事なので、教職員向けの研修も充実させてほしい。しんどい子どもを支える取組をより一層強めてほしいとの御意見を頂戴いたしました。

また、こどもサポートネット事業に関しましては、こどもサポートネットが中学校で終わってしまい、高校中退の問題なども今問題になっておりますので、高校生が自ら相談できる窓口があればいいという御意見を頂戴したところでございます。

また、こどもサポートネットの取組から見えてきた地域資源との連携について御説明をさせていただきます。委員から意見を聴取いたしました。地域支援との連携には、大阪市こどもの見守り強化事業のお話が出てまいりまして、その連携のお話をさせていただきました。

3番目の令和4年の学校図書館活用推進事業体制及びスクールカウンセラーの実施体制については、特に図書館の環境整備に関しましては非常に良い取組であるが、司書が本と子どもをつなぐ重要な役割を担っているため、今後もよろしくお願ひしたいというお話をいただき、そういった御意見を聴取しましたことを御報告いたします。

私の方からは以上でございます。

【辻野議長】 そうしましたら、これまでの報告について質疑等をしたいと思ひます。皆様から御意見とか御質問とかがありましたら御発言いただけたらと思ひます。いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。遠慮している方がいらっしゃったら、遠慮なく御発言していただけたらと思ひますが、大丈夫ですか。よろしいですか。じゃ、お願ひします。

【榊野委員】 防災訓練の日程が土曜日でないと調整が難しいということでお聞きして、理解はできるのですが、第2土曜日というのを、例えば第1とか第3とかに変えるということも難しいということでしょうか。その辺をお聞かせいただければと思います。

【小林地域課長】 地域課長の小林です。御意見ありがとうございます。

基本的には小中学校との土曜授業の連携ということで土曜日とさせていただいた関係で、第2土曜日とさせていただきます。

第2土曜日とさせていただいている理由ですけれども、長居小学校であったり、住吉地域のイベントであったり、もともとは第2土曜日に催しがあったものもあるのですが、ほかの地域で11月の第1、第3土曜日にイベントが多いということから、第2土曜日に開催していただいていたものを第1、第3土曜日にずらしていただいた関係もあります。また、11月の第2土曜日に日程を定着させてほしいという御意見がかなり多かったので、そのような形にさせていただいています。このように日程を変更していただいている地域もあるので、また更なる変更が余計混乱を招くということもあって第2土曜日に確定させていただいているものですので、今後また皆さんのアンケートを取りながら調整させていただきます。よろしくをお願いします。

【榊野委員】 ありがとうございます。

【辻野議長】 ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。お願いします。

【谷山委員】 総合教育会議の件ですけれども、勉強不足で私は知らないんですが、スクールソーシャルワーカーという方にどれぐらいの権限があるかよく分からないんですが、しんどい子どもを支える、その先生を支える仕組みというものもスクールソーシャルワーカーの方にあるかどうか分からないんですが、先生を支える仕組みをもっとしていけないんじゃないかなと、周りの話を近所で聞いたりとかして感じておりますので、先生も支えてあげていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

【辻野議長】 回答可能な範囲でお願いできればと思います。

【山田教育文化課長】 貴重な御意見ありがとうございます。教育文化課の山田でございます。

総合教育会議の場でも、そのようなお話があり、教職員の方が非常に業務繁忙ということも言われております。また、教職員が、非常に若い方が多くなっておりまして、なかなか気づいていただけないということが、保護者の方からも見えることがあるということ

ございまして、先生方に、まず気づいていただいて、そうして、スクールソーシャルワーカーさんなどの専門職にも頼って連携する、そういった仕組みがあるということを御理解いただくための研修をスクールソーシャルワーカー自身がやれている学校もございまして、それを広げていきたいなと考えております。貴重な御意見ありがとうございました。

【辻野議長】 どうもありがとうございました。

ほか、いかがでしょうか。お願いします。

【島谷委員】 総合教育会議の中の議論のポイントの2番で、地域資源との連携とあるんですが、具体的に地域資源というのはどのようなものを指すのでしょうか。教えていただければと思います。

【山田教育文化課長】 具体的にといいますと、いろいろなものが含まれます。地域でいろいろな活動をしていただいている専門職の方も含めますし、地域の中で役割を持って地域活動をなさっておられる方々も指します。当然、保護者も地域資源でございます。

総合教育会議の場でお話をさせていただきました中では、主任児童委員さんが住吉の学習サポートをしていただいているところにプレゼントを持って行っていただいたりとか、クリスマス会を催していただいたりとか、そういう活動があるというお話でございますとか、このとき少し議論になりましたのは、先ほど申し上げた大阪市こどもの見守り強化事業ですけれども、こども食堂にいろいろお世話になっております。こども食堂も地域資源ですけれども、その場所に大阪市の事業としてこどもの見守りをお願いしておりまして、そのルールが、補助金を交付している事業であることから、少しチェック機能が厳しくなっております、気軽にこども食堂に来ていただいた方に声をかけるとか様子を確認するといったことが事業であったんですけれども、それがその次の年度には、その内容をきちんと報告するよにということが義務づけられて、こども食堂という場面における活用が難しいというお話も頂戴したところです。

地域資源といいますのは、地域で見守っていただけるたくさんの方を指すと思っておりますので、よろしく願いいたします。

【辻野議長】 どうもありがとうございました。

ほか、よろしいですか。お願いします。

【東委員】 東です。防災専門会議のほうで質問させてください。

目線がすごく大きな防災の方に向かっていて、区全体であったりとか、台風とか水害みたいに予想ができる災害についての対応はすごく深められてきているのかなと思うんです

が、例えば部分的に停電が起きたりとか、先日ですと、長居でちょっと大きな火事があったんですけども、その火事から焼け出された方が数多くいらっしゃる、数多くの方が1か所だけ、急に避難されるときの対応がまだまだ手薄というか、逆にそういう小さな対応がうまくできない状況で、大規模災害が起きたときにどうなるんだろうかという不安を少し感じました。そういった小さな災害にも目を向けてプランを立てていただければありがたいと思います。

【辻野議長】 お願いします。

【小林地域課長】 地域課長の小林です。貴重な御意見ありがとうございます。

先日長居の方で13世帯が全焼になるような大規模な火災が発生いたしました。実際に全焼になられた方々は長居の老人憩の家というところに避難をしていただいたところでございます。消防から連絡を受けて、防災担当の者がこちらに駆けつけて、その際に、地域の方々にも避難所として会館を開設してほしいという旨の連絡もさせていただいております。その方々について、避難生活を送っていただくに当たって、日常生活ができるような物資であったり、水であったり、そういったものも防災担当の方から配備をさせていただいております。

地域の方々もすごく協力的に、会長様、女性部長様を中心に動いていただいておりますので、本当にそういった小さいところの部分が大規模なものにつながっていくかと思っておりますので、そういったものも併せて、各地域、町会の方とも連携が取れるように努めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

【辻野議長】 どうもありがとうございました。

よろしいでしょうか。

一旦、先に進めさせていただいて、また再度、質疑の時間、発言いただく時間を設けたいと思いますので、お願いできればと思います。

冒頭、御説明があったように、今回、第1回目なので、次回以降の区政会議で議論したいテーマについても皆さんから御意見をお一言ずつぐらいいただきたいなと思っておりますので、今発言しそびれたとか、もう少し深めたかったということがありましたら、またその場で御発言いただけますので、次、協議事項、御説明が一旦長く続きますけれども、御自身の日常抱えておられる分野なんかは特に聞いていただいたりとか、後で御意見に含めていただいたりするとありがたいなと思っております。

それでは、先に進めさせていただいてよろしいでしょうか。ありがとうございます。

そうしましたら、協議事項「令和3年度住吉区運営方針の振り返り」について御説明をお願いいたします。

【長船政策推進課長】 政策推進課長の長船でございます。

私の方より、協議事項「令和3年度住吉区運営方針の振り返り」について御説明いたします。

配付資料⑤が令和3年度の住吉区運営方針となっております。会議時間の関係上、個別の振り返り内容等の詳細な説明は割愛させていただきますが、様式2における各具体的取組においてプロセス指標の達成状況が未達成であった箇所の課題と改善策について配付資料⑥にまとめておりますので、こちらの資料を基に関係課の課長からご説明いたします。どうぞよろしくをお願いいたします。

【小林地域課長】 配付資料⑥の1-1、防災の取組をご覧ください。

1-1-1といたしまして、災害時要援護者（高齢者、障がい者など）支援についてでございます。プロセス指標といたしまして、要援護者支援台帳登録者に対する1回訪問の実施ということで、目標を115町会以上とさせていただいておりましたが、達成状況といたしまして114町会と、1町会未達成となっております。

課題でございますが、新型コロナウイルス感染症の影響によりまして、説明会や訪問等の実施が困難な状況でございました。

そういったところを踏まえまして、改善策といたしまして、コロナも落ち着いてきたことですので、説明会を開催させていただきまして、電話や訪問カード等の手法も組み合わせた地域と協議をさせていただいて、今後の支援の継続を図ってまいりたいと考えております。

続きまして、1-1-2、地域防災力の向上でございます。ここ1、2年お住まいの地域の防災力が向上したと感じている区民の割合ですが、目標は45%以上でございますが、達成状況は39.6%となっております。

課題といたしまして、以前は総合防災訓練に一般の方を参加対象としておりましたが、ここ2年、コロナ禍のため、一般の方の参加ができない状況でございました。その関係で、防災意識の向上につながっていないものとお感じのところがございます。

改善策といたしまして、令和4年度の総合防災訓練は、できるだけ一般の方にも参加いただくような方向で検討しておるところでございます。

次に、1-3といたしまして、放置自転車対策・交通安全の取組でございます。

1-3-1、放置自転車対策についてでございます。Osaka Metroあびこ駅、長居駅周辺の放置自転車台数について、目標は対前年度比5%削減としておりましたが、残念ながら、152台ということで、対前年度比1.65%増加してしまっている状況でございます。

Osaka Metroあびこ・長居駅周辺に駐輪スペースの確保がなかなか難しい状況になっておるところでございますが、令和2年度は、コロナの影響で外出者が少なかったということから、対前年度比ということとなれば増加になってしまったということも考えられるところでございます。

改善策といたしましては、放置自転車が多いエリアを重点的に啓発強化を行ってまいります。また、民間駐車場の駐輪場への転用の働きかけを行ってまいりたいと考えております。

次に、1-3-2、交通安全の取組でございます。目標といたしまして、区内交通事故発生件数、対前年比5%削減としておりましたが、達成状況が398件、対前年比20.2%増ということで、交通事故が住吉区はすごく増えており、中でも自転車と高齢者の事故がかなり増加している状況でございます。ただ、この数値につきましても、令和2年は331件と、その前の令和元年是408件ということですので、令和元年と比べると減少しているということで、やはり令和2年はコロナで外出が少なかったことも考えられるということでございます。

改善策といたしましては、コロナの影響がなくなったので、交通安全キャンペーンや教室をどんどん始めさせていただきたいと思っております。また、子ども劇団「やまのうち」といまして、子どもたちに動画の作成に協力いただきまして、その子どもたちが演じている動画を高齢者の方に見ていただくことで、安全対策に気をつけないといけないかなと思っただけのようなDVDになっていますので、皆さんも御覧いただければと思っております。

以上でございます。

【田中保健福祉課長】 保健福祉課長の田中です。

私の方からは、2-1、地域福祉の推進ということで、具体的取組の2-1-3、小地域福祉計画の策定支援でございます。プロセス指標といたしまして、地域座談会の参加者にアンケートを実施し、「地域の福祉について見直す良いきっかけとなった」と感じた参加者の割合として目標80%以上ということで掲げておりました。

しかしながら、課題にも書かせていただいておりますとおり、新型コロナウイルス感染

症の影響により、予定していた地域座談会をそもそも開催することができなかったということで、この指標も取ることができませんでした。

改善策といたしまして、地域座談会について、コロナ禍においてはオンラインを活用するなど、一堂に会さずともより多くの人が議論に参加できる方法も検討していくと。また、あわせて、既に地域座談会を開催した地域では、出された地域課題・理想の姿を取りまとめ、地域にフィードバックし、新型コロナウイルス感染症が落ち着けばすぐに議論できるように進めていきたいと考えております。

以上でございます。

【小西保健子育て担当課長】 続きますして、2-2、区民とともにすすめる健康づくりでございます。

保健子育て担当課長の小西でございます。よろしくお願いいたします。

2-2-2、生活習慣病予防の推進でございます。プロセス指標としましては、医療機関実施分も含めたがん検診・特定健診の受診率ということで、目標は前年度実績より0.5%以上増加ということでしたが、達成状況は1.1%の減少となっております。

これにつきましては、課題に書かせていただいておりますように、令和2年度以降の受診率が低下していることは新型コロナウイルスの感染症の影響と考えております。国に比べて特定健診の受診率も低い状況にあるということでございます。

改善策としましては、これまでの受診勧奨は継続しつつ、働く世代に周知・勧奨できる機会を設けるということと、休日、区役所で実施するがん検診等、より受診しやすい環境づくりの検討を行うということ、そして、新型コロナの感染状況の影響によるいわゆる検診控えが受診率を引き下げている可能性がありますので、これについても感染防止対策のPRを積極的に行ってまいりたいと考えております。

以上でございます。

【足立生活支援課長】 いつもお世話になっております。生活支援課長、足立でございます。

では、私の方から、3-1-3、貧困の連鎖を断ち切る取組の中の1つでございます「すみよし学びあいサポート事業」について御説明をさせていただきたいと思っております。

こちらの事業につきましては、経済的に学習環境が整っていない世帯や様々な状況により学習できない中学生の学び合いの場を提供しておる事業でございます。

プロセス指標といたしましては出席率を挙げておるところでございます。目標はと申し

ますと70%以上、しかしながら、達成状況は56.4%でございました。

課題といたしましては、やはり新型コロナウイルス感染症の影響で、保護者から感染への危惧等の意見もありまして、なかなか目標が達成できなかったところでございます。

改善策といたしましては、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策をより講じまして、安心感のある学びの場を提供することによりまして、保護者の不安を払拭いたしまして、出席勧奨を行っていきたいと考えております。また、コロナ禍の中、オンライン受講も検討しておるところでございます。

ちなみに、今年度、まだ始まったところでございますが、4月、5月が終わった時点では、今のところ71.7%の出席率となっております。

以上でございます。

【山田教育文化課長】 3-1-4、不登校児童・生徒への支援につきまして、教育文化課、山田から御説明をさせていただきます。

スクールソーシャルワーカーを活用して解決を図ろうとした事案についてですが、このプロセス指標の目標を36件といたしておりましたが、残念ながら、結果、33件となってしまいました。住吉区ではスクールソーシャルワーカーを1名配置し、区内の中学校を拠点としまして、小学校へも派遣を行っております。

課題ですが、不登校児童・生徒の解消を図るためには、教員、児童、生徒に近い学校で、連携を図りながら早期発見や早期対応を行っていく必要があると考えております。

改善策といたしまして、拠点校としている中学校の接続小学校には要請時だけではなく、定期的に訪問し、情報共有を図っていく必要があると考えております。具体的には、住吉中学校を拠点としておりまして、住吉小学校、東粉浜小学校に要請があればお伺いをするという形での事業でございましたが、これを定期的に訪問する形に改善してまいりたいと考えております。

【田中保健福祉課長】 保健福祉課長の田中です。

3-1-4でもう1つ項目がございます。不登校やひきこもりで悩むこども・若者の相談受付件数ということで、当区で実施しております子ども・若者育成支援事業に関しまして、相談の受付件数を、目標として350件ということで掲げておりましたが、実績は327件でございました。

こちらの方も、課題にも書かせていただいておりますように、やはりコロナの影響で相談者が面談に来られる回数が減ったというふうに考えております。

改善策といたしまして、本事業において、他機関での年齢制限による支援終了後、具体的に言いますと、こどもサポートネットや子ども自立アシスト事業になるんですけれども、そういった事業の終了後も継続した支援ができるように、事前登録制を導入し、当事者の状況確認を行うなど、積極的にアウトリーチを行い相談事業につなげていくとともに、コロナ禍も踏まえて、電話等の対面によらない相談体制も検討していきたいと考えております。

【山田教育文化課長】 続きまして、3-5、人権尊重のまちづくり、3-5-1、人権啓発推進事業の御説明をさせていただきます。

人権に関する区の取組や啓発が人権を考えるきっかけとなった区民の割合、こちらの目標を50%以上とさせていただいております。その達成状況が、残念ながら35.4%となっております。

新型コロナウイルス感染症の影響によりまして、人権啓発を意図しましたイベント等が中止になりまして、人権啓発の機会、情報発信の機会が減少いたしましたことが原因でございます。

引き続き、改善策といたしまして、SNS等を活用した情報発信に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症の感染状況を勘案しつつ、区役所・イベントでの啓発に努力してまいりたいと考えております。

続きまして、経営課題4、歴史・文化を活かした魅力あるまちづくり、4-1、歴史・文化を通じた地域の活性化の中、4-1-1、歴史的資産を活かした文化観光振興事業による地域の活性化についてでございますが、住吉区の歴史・文化に関連する情報にふれたことのある区民の割合をプロセス指標とさせていただいております。目標を60%以上とさせていただいておりますが、達成状況については34.2%にとどまりました。

こちらにも、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント事業の中止もございまして、限られた広報手段の中で多様で魅力ある情報発信ができないということがこの34.2%につながったと考えております。

改善策といたしまして、住吉区の歴史的資産・観光資源を活かした情報発信について、関係団体・鉄道事業者等のネットワークを活用するほか、SNSや、住吉区で連携ができることになりましたケーブルテレビでの取り上げなど、多様な手法を検討して実践してまいりたいと考えております。

以上でございます。

【小林地域課長】 地域課長の小林です。

次の3ページを御覧ください。

経営課題5、自立的に地域活動が展開される活力あるまちづくりについてでございます。

5-1、つながりづくりの推進、5-1-2ということで、新たな住民どうしのつながりの「場」「きっかけづくり」でございます。プロセス指標といたしまして、つながりづくり促進のための地域活動に参加したことがある区民の割合、目標数値30%以上のところ、達成状況15%となっております。

新型コロナの影響で多くの事業等の中止を余儀なくされたことが原因かと考えておりますが、若い世代が行ってみたいと思える「場」や「機会」の提供ができなかったというところがございます。

改善策といたしまして、コロナの感染対策の徹底を図りまして、区民まつり等のイベントを開催し町会の加入促進や情報発信を行ってまいりたいと思っております。

今年度、区民まつりは10月22日の開催予定で、3年ぶりにフルスペックで実施したいと実行委員のメンバーで検討しておるところでございます。また、各地域においても、ふれあい喫茶や食事サービス、そういったものもどんどん始めていただいて、ウイズコロナ、アフターコロナに向けて、工夫を凝らして活動を実施していただいているところがございます。

次に、5-2、自立的な地域運営の促進でございます。5-2-1、地域活動協議会への支援について。地域活動協議会を知っている区民の割合、53%以上を目標としておりましたが、達成状況は50.1%ということで、令和元年度、37.8%に比べると少し上昇しておるところではございますが、50%にとどまっているところがございます。

地域活動協議会が発足して10年目を迎えている中でも50%しか知られてないという状況でございます。

改善策といたしまして、感染防止対策を講じながら地域の活動を支援させていただくということと、地域活動協議会、地域の広報紙の発行やSNSを活用した情報発信に重点を置いて支援してまいりたいと考えております。

次に、5-2-2、地域の実態に応じたきめ細やかな支援ということで、地域活動協議会に対し地域の実情やニーズに即した支援が実施されていると思う割合、93%以上ということでございましたが、達成状況は84.8%で、これは前年度以上の目標を掲げないといけないことから少し下がってしまったという経過になっているところがございます。

改善策といたしましては、まちづくりセンターが、地域の実情やニーズを把握し適切な地域活動の支援を行えるように連携してまいりたいと考えております。

以上でございます。

【長船政策推進課長】 続きまして、政策推進課長の長船でございます。

経営課題6、区政改革の推進、6-1、区政運営への住民参画というところで、6-1-1、区政会議の開催。プロセス指標でございますが、区政会議におきまして、各委員からの意見や要望、評価について、十分に区役所や委員との間で意見交換が行われていると感じる区政会議委員の割合というところで、目標を80%以上としておりましたが、達成状況は54.5%となっております。

課題につきましては、出された意見・提案への対応・説明が不十分であって、委員との意見交換が低調となっております。委員全員での議論では発言しにくく感じる委員が多いようであったことから、委員数が多いことも要因の1つと推測しております。現実には特定の委員しか発言しない傾向もありました。フラットな議論ができるよう会議の進め方もとより委員の構成等も視野に入れて活性化に向けた検討が必要であると考えております。

改善策でございますが、区政会議で出された意見等に対しまして、具体的に対応方針や実現に際しての課題等を委員に対して迅速にフィードバックし、議論の活性化につなげてまいりたいと考えております。また、直近の会議等で出た意見や提案をテーマとして取り上げて議論するなどの工夫を行っていきたいと考えております。論点を絞ってさらに議論を深めるようにしていく。それと、3点目に、区政会議の状況を開催の都度タイムリーに広報紙やホームページで情報発信したいと考えております。

続きまして、6-2、情報発信の機能強化というところで、6-2-1、広報「すみよし」・区役所ホームページ・SNSの作成、充実。プロセス指標といたしまして、広報「すみよし」が読みやすいと感じる区民の割合、目標につきまして80%以上というところでございますが、達成状況、僅かに届かず、79.5%となっております。

課題といたしまして、「広報すみよし」を読んだことがある区民のうち、読みやすいと回答した割合は、30代以下では増加したものの、40代以上では減少しております。また、30代以下の3分の1が「広報すみよし」を「知らない」「読んでいない」と回答しており、年代も考慮しながら対応を考える必要があると考えております。SNSでございますが、見たことがあると回答した割合は、目標値は超えているものの、低い水準にありますので、

さらなる周知が必要であると考えております。

改善策といたしましては、「広報すみよし」については、30代以下の世代が区政で関心のある内容についてアンケート等で調査して情報発信に反映する。読みやすさについては若年層に読んでもらう工夫は継続しつつ、40代以上にも読みやすいレイアウトや記事内容についても検討してまいりたいと考えております。SNSについては、区の行事以外の場でもさらに周知を図ってまいりたいと考えております。SNSの中でも災害時の情報発信ツールとなるTwitter認知度を高めるために、区アカウントをフォローしてもらえるように周知等を強化するという考えで考えております。

区役所からの説明は以上となります。どうぞよろしくお願いいたします。

【辻野議長】 ありがとうございました。

それでは、令和3年度の住吉区運営方針の振り返りについて、委員の皆さんから御意見等をいただきたいと思っております。

最初に1つ確認なんですけども、いろいろと丁寧に資料を作ってくださいって非常にありがたいなと思っているんですが、配付資料⑥は重点的に取り組む課題ということで、目標達成が十分でなかったものを一覧化していただいているのかなと思うんですけども、配付資料⑤、こちらも一覧化しているものの、その赤い箇所になるんですかね。青いところは達成されていると理解していいのであれば、それぞれ業界のいろんなことをされている方々がここにおられるんですけど、区政全体に関して、私も含めて素人なので、問題ばかり言われると、大丈夫なのかなとか思ってしまうんですけども、かなり多くのところも達成されているんだなということでもいいんですかね。

そのようですので、問題と感じるところはぜひ遠慮なく言っていただいて、忌憚のない御意見をお願いいたします。どなたからでも、いかがでしょうか。

お願いします。

【山本委員】 すみません、山本です。

経営課題の3のところ、安心して子育てでき地域の実情にあった教育が展開されるまちづくり、本来なら、こういう相談とかはない方がいいものですけども、ただ、一方で、こういった形ですと、どうしても目標何件以上みたいになっちゃうので、目標設定の難しいところだなと、事例の紹介を含めてというところですが、要は、基本的には不登校のお子さんとかを登校できるようにするという形で目標って当然立てられると思うんですけど、例えば泉州、泉佐野とかで、キリンこども応援団という団体があったりして、そこは

本当に家の外に出られない子たちをオンラインで、フリースクールみたいな形でやられていたりであるとか、あるいは、私が一般社団法人のところでやっている、毎週第3土曜日に浜寺公園でマーケットをやっているんですけども、そこで実際地域のこどもがお店をやったりとか、そういうことがあったりします。

要は何が言いたいかという、行政が言うべきことではないかもしれないんですけど、学校に行くことだけが多分正解ということではなくて、いわゆるサードスペースみたいなもの、そういったところがあれば、学校と家以外の場所があるということはすごいこどもの助けになるんじゃないかなと思ったりして、そういう多様性みたいなところをまちとして許容できるというか、内包しているまちがすごい素敵だなと思ったので、指標的にはこうなっちゃうかもしれないんですけど、そういった指標も含めてお考えいただけたら、安心して過ごせるかなと思ったので、意見として言わせていただきました。

【辻野議長】 貴重な御意見、どうもありがとうございます。

御意見ということなので、特に回答を求めるものじゃないと思うんですけども、また後で何か回答できることがあればということでお願ひします。確かに目標設定のところは私もすごく気になって見ていて、私も大学で働いているものですから、達成できなかったと言うときに、その目標設定が妥当かどうかというところもついつい気になるところがありまして、高過ぎる目標とかがしばしば日本社会ではよく設定されるところでして、例えば配付資料⑥の1ページ目ですかね。地域防災力の向上、1-1-2ということで、プロセス指標のところを見ると、ここ1、2年お住まいの地域の防災力が向上したとを感じる区民の割合ということですけども、向上というのは右肩上がりになるので、例えば高止まりということは当然あるわけですよ。一定向上した結果、上がらなくなることがあるので、右肩上がりになり続けることはあり得ないので、こういう質問をしている限りはどこかで止まったりとかする訳です。だから、防災力が備わっていると感ずるとか、地域の防災力の状態を調べたいのであれば、そのための質問をしたりとか、そういうことも検討いただいた方が、無理な目標設定をして、結果が出なくて、無理な対策を立ててということもあり得るので、区の職員さんも本当にお仕事が忙しい中でやっていらっしゃると思うんですね。だから、ポイントを絞ってされるといいのかなと思いました。

すみません、話が長くなりました。皆さんの方からいかがでしょうか。

【桶土井委員】 提言ですけれども、私、PTAをやっています、週1回、小学校に読み聞かせのボランティアに行っており、今日も行ったんですけども、登校時にほとん

どのこどもがマスクを着けて登校していました。1人で歩いているときもマスクをしていますし、学校に行ったら校長先生もマスクをしていて、先生に「先生外さへんかったらこどもら外されへんやん」と言っても、なかなか先生も外せなくて、距離が空いていてもなかなかこどもたちが外せなくて、学校の中でもこどもたちはやっぱりマスクしている状況です。もちろん教室の中ではマスク着用となっていると思うんですけども、実際今日読み聞かせをしたときは、ちょっと教室も暑かったので、何人かあごマスクとか、外している子もいたんですけども、ほとんどの子はマスクをしていました。ついこの間までも、体育の授業でも先生が「外せ」と言って、やっと外す子もいたんですけども、それでも外せないこどもがいました。こどもに聞くと、給食の時間も顔を出すのが恥ずかしいというので、隠しながら食べる児童もいます。

こうなったのはやっぱりコロナ感染対策もあるかもしれませんが、社会全体でも、外ではほぼ感染がないと言われていても、1人で歩いている人でもマスクをしている状況が、今こどもたちがマスクを外せない状況になっていると思うので、できればこういうところでマスクを外せるような環境とか、そういうのをつくってほしいなと思っていますし、こどもが顔を出せないという気持ちになっているのがすごい問題やと思いますし、これからのこどもの発育に関してすごい心配しています。特に低学年とか未就学児の子は、相手の顔を見ながら感情を読み取ったりすることで成長していくので、そういう部分がないのがすごい不安ですし、去年の総合教育会議の中でそういう議題も特になかったもので、そういうところも考えてほしいなと思いました。

以上です。

【辻野議長】 どうもありがとうございました。

マスクの例だったんですけども、やり出していることで、つついちゃめられなくなって、そのことを問うこと自体が何かタブーみたいになってしまうことがあると思うので、ぜひそういう話題をまた会議等で検討していければいいんじゃないかと思います。

どうぞ、続きをお願いします。

【桶土井委員】 この前、学校の先生と飲む機会もありまして、いろいろお話をしたんですけども、学校の公務員とか教職員の先生って飲酒を伴う会食は基本駄目みたいな状況があるらしくて、先生も、いろいろ相談したくても、学校の中ではなかなか相談とかができない状況で、学校を離れたところで先輩の先生とか管理職の先生と話したりして、悩み相談とかができる場だと思うので、公務員の先生方、特にまだ会食とかそういうのがで

きないので、できればそういう場ができる方が若い先生とかの悩みとかが解決するんじゃないかと思しますので、ぜひ、特にいろんな方がいらっしゃいますので、公務員の方が4人とか、何か会食とかのそういう制限を取ってほしいなと個人的には思っています。

以上です。すみません。

【辻野議長】 どうもありがとうございました。

公務員の方ということで、住吉区の職員の方も似たような思いがあるかもしれませんので、そろそろ飲み会やりたいな、とかありましたら、言いたいけど言いにくい等があったら、投げげていただいたら、こちらで意見をまとめさせていただきますので。ニューノーマルに向けて議論ができたらと思います。

お待たせしました。鍛治本委員、お願いします。

【鍛治本委員】 こんばんは、鍛治本と申します。

意見というか、検討というか、御相談というか、防災のことですけれども、ここ数年にわたって自分の中で一番課題としているのが、訓練のときに年配の方がどうしてもそこへ集うことができなくて、私たちには関係がないというか、行かれへんからというところで、訓練の参加がなかなかできなかつたりというのがあります。参加することだけに意義があるとは思わないんですが、実際のところ、何かあったときに御年配の方たちを安全に見守っていくことをどうしたらいいかということになると、年配の方にどのように意識をしていただくかが1つの課題かなというふうに、地域でもたくさんの年配の方がいらっしゃいますので、またその辺のところも、区としても、防災訓練に当たって、御年配の方への訓練の仕方をまた投げかけていただけたらありがたいなと思います。今年敬老会で防災訓練ができないかと自分の中では考えていたのですが、敬老会自体がたくさんの人数が来られるということで、まだ集えない状況にありますので、今またどのような形で皆様に伝えたいかということで自分の中で思案しております。何か御意見等が、課題がありましたら、また御相談に乗っていただけたらなと思っているのが防災の1つであります。

ここ数年にわたってコロナということで様々な行事が停止をしていた中でのことですが、地域においても、教育関係においても、この2年間、行動がなかなかできなくて、こどもたちもなかなか動けなくて、ストレスがたまっているとか、行事が少ないので町会に入っているけど仕方がないからと、町会から離れていく方とか、今様々な課題が現場としてはあります。そういう中で、コロナ禍の中であっても何をしたいのか、また、体を動かしたりとかもそうですけれども、心の体力をどうつけていくのかということも課題と

してしっかりと、私たちもそうですが、取り上げながら、1つ何か進めていっていただきたいなと感じる次第です。

学校の方も、私もサポートで入らせていただいたりするんですけども、今少し気になっているのは、ソーシャルワーカーの方とかも入っていただいて、スムーズにしているなという部分もあるんですけども、手をつけられないじゃないですけど、じっとしとけない子どもたちは、すぐ病院に行ってみたらどうですかというような意見が出ます。病院へ行くイコール、ちょっとお薬を飲んで安定させてみたいなこととか、そういうことにつながりがちになったりするの自分の中で今気になっているところがあります。もっとこどもたちの声を聞いてあげる、そういう大人の教育を進めていけないのかなと、それは教職員の方だけではなくて、周りを取り巻く大人の子どもと接する教育的な知識を学べる場を設けていただけたところがどんどんできていけばありがたいなとも感じている次第であります。

なかなか抽象的なお話の部分があるのかと思うんですが、こういうことを議題において区の方で検討していただけたらありがたいなと思います。

以上です。

【辻野議長】 どうもありがとうございました。

前半の話は、先ほど東委員に御指摘いただいた点とも通じるところかなと。マクロな意味での防災対策がなされてきた一方で、身近な防災というところで、こういうところを重視していけたらということと、また、コロナ禍の2年間、3年目に入った新しい生活の仕方とか、これは大人もこどもも、とても大事なところになってくると思いますので、先ほどの桶土井委員の話とも通じると思うんですけども、どうも形式的になってしまいがちなところを、実質的に考えて、変えられるところは変えて、心の体力をつけていくとおっしゃったんですけども、ぜひそんなことができたならよろしいかなと思っています。

既に出していただいている御意見はいずれも、冒頭説明がありました次回以降の区政会議で議論したいテーマにもつながってくるような御意見なので、先ほど説明があったことへの意見、質問だけじゃなくて、今後、議論をしたいテーマですね。今まさに御意見いただいたような形で結構ですので、ほかに御意見いかがでしょうか。

幾つかご意見をいただいているので、このあたりで1回区長に振ってもいいですかね。次回以降、区政会議で議論したいテーマというのは、要するにこれまでの総括も含めてということだと思うので、何を課題として考えて、今後、どういうふうやっていくかとい

う話ができればということだと思うので、区長、お願いできますか。

【平澤区長】 住吉区長の平澤です。本当にいろいろ御意見をいただいてありがとうございます。今回区政会議で議論したいテーマを皆様にお聞きしたいなと思いましたが背景を簡単に説明させていただけたらということで発言の機会をいただきました。

区政会議では、この間区の運営方針ですとか予算に関して御意見をいただいてきて、また、いろいろ御議論していただくということで、グループディスカッションのような形も取らせていただいております。ただ、コロナ禍ということで、時間を短めでやってきたこともあり、なかなか議論する時間が十分に取れなかったのかなと私どもも反省をしているところでございます。

先ほども鍛冶本委員からもありましたように、コロナで全て行事が止まってしまったということですがけれども、やっぱりいつまでもそんな状態ではないのではなくて、感染状況を見ながらはなりますけれども、コロナ前の日常に戻していくことも必要なのかなと、感染状況を見ながら何ができるのかということを考えていって、どんどん新しいこともやっていけないといけないのかなと思っているところでございます。

この間区政会議では、区の方から、こういったテーマについて御意見をいただきたいということで提示させていただいて、御議論いただいてきた経過はあったんですけども、一方で、区民の皆さんの方から、区政に期待するものですか、住吉区でこんなことができるのかとか、こんなことができたらいいなといった御意見をいただいて、その意見をどういった形で区政に反映していけるか、そういったことを検討していくことも大切ではないかなと考えておるところです。先ほどの運営方針におきましても、区政会議において委員の意見等が反映されているか、意見交換が十分に行われているかという割合が非常に低い状況もありましたので、こういった点、きっちり区政会議を活性化させていく必要があるのかなと考えているところではあります。

また、市会の方でも区政会議について、身近なテーマでの活発な議論ということと、会議の成果を区民の皆さんに分かりやすく発信すると、この2つに関しても質疑があったところではあります。会議の成果の発信につきましては、昨年の終わりぐらいからは、区政会議の開催の都度、広報紙で発信するといった取組を進めてきたところですがけれども、もう1つの課題でもあります身近なテーマでの活発な議論ということも進めていくことをやっていきたいなと思っております。本日お時間をいただいて、委員の皆さんお一人お一人から御意見をいただきたいなと思っているところでございます。幅広い御意見、アイデア、感想、

何でも結構ですけども、そういったものをぜひ出していただけたらと思っております。

また、御参考になるかどうか分かりませんが、御紹介させていただきたいんですが、ほかの区役所におきましても、同じように区政会議を活性化させていけないなということで、いろいろそれぞれ取組を進めておられまして、例えばですけども、1つのある区では、区内を3つのエリアに分けたと。そのエリアごとに、エリアの活性化させるプランみたいなものをつくっておられて、それぞれのプランについて、区政会議ですとかエリア別のタウンミーティングみたいなものも開いて、それでいろんな意見を聞くという取組をされている例もありました。そこで出た意見も非常に幅広くて、本当に公園とか埠頭とかの活用といったことから、教育の向上、若い世代の呼び込みというかなり幅広いテーマについて意見が出たというふうにも聞いておるところです。

また、別の区では、区にある施設の跡地の活用で、新たに施設を整備する計画があるということですけども、その区においては、その跡地の活用について、区民だけではなくて、デベロッパーですとか整備される施設の関係者、そういった人も呼んで意見交換をすると、そういった例もあると聞いております。

これもあくまで参考ですので、こういったものも念頭に置いていただいて、今委員の皆様方で、区政に対しての御意見ですとか、こういった場を使って議論したい中身があれば、本当にいろんなアイデアを出していただけたら、今後の区政会議において検討していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【辻野議長】 突然振りまされたけども、お答えいただいて、どうもありがとうございます。ありがとうございました。

時間が近づいてきたところもあるんですけど、せっかくですので、区長からもいろいろと御意見をいただきたいというお話があったので、まだ御発言されていない方で、よろしければ、一言と言わず、二言、三言ぐらい、ぜひ何かお話しただけたらありがたいなと思っておりますけども、どうですかね。強制的に発言してくださいということじゃないんですけど、パスしていただいてもいいんですが、先ほど発言された方も、もう1回発言ということがあると思うので、先にまだ発言されていない方にお回しして、その後に御発言いただくということでどうでしょうかね。これまでの住吉の、今までのお話のことでもよろしいですし、今後の、次回以降の区政会議で議論したいテーマをピンポイントで言っていただいても結構ですので、特にそれぞれのふだん関わっておられるお仕事や、お仕事だけじゃなくて、それぞれの社会があると思いますので、ぜひその社会からの声をここに

反映させていただいたら非常にありがたいなと思っています。

機械的に行きましようかね。佐藤委員から。

【佐藤委員】 佐藤です。

私は、今日は皆さんがどんな発言するのかなというのをまず聞く方に回ろうと思っていたんですけど、私が今一番問題にしているのはやっぱり町会離れということなので、その辺をまた皆さんに御検討いただいたらいいかなと思うんですけど。

以上です。

【辻野議長】 どうもありがとうございました。

【田中委員】 私は商店会連盟なんですけど、商店街と関係なく、ここのテーマにもないんですけど、以前、JRの跡地、「風かおる“みち”」を造るということで、長年ずっとやってきたんですけど、長居の辺からだんだんできているんですけど、自転車置き場ぐらいにしかなくてないので、もうちょっと何か夢のある跡地になってほしいなと思っていたんです。非常のときの道も必要ですし、もうちょっと緑のある、と思っているんです。

それと、区役所は憩いの場所なんですけど、照明器具とかが壊れたまんまで、夜、不良のたまり場になるんじゃないかと。よくニューヨークの地下鉄の汚いのがきれいになった途端に犯罪も少なくなったということもありますので、せっかくここが一番ポイントなので、ちょっと気になっておりました。

以上です。

【辻野議長】 どうもありがとうございました。

【佃井委員】 佃井といいます。

町会なんですけれども、防災のこととかはよく議題に上って会議はやっているんですけども、マンションがあるところで、マンション一体で町会に入ってはるんですけども、高齢者の方がどれだけいてはるかとか、そんなのが全然分からへんという感じで、町会費というのは何やねんという感じで思っいらっしゃる方が、最近宿替えされた方は町会に入らないという、何かそういう形になっているそうです。

それで、先ほど言われた防災の件でも、小学校が避難場所になっておるんですけども、年いっているメンバーがどれだけいてるか分からへんとか、どこの家に何人いてて、どんな方がいてはるって、国勢調査をやったから分かるはずやねんけれども、そんなのがさっぱり分からへんと、見えない状態やという、どれだけの人がどんな形で住んではるか分からへんと、高齢者の人が、寝たきりでいてはる方も分からへんと、そういうことが物すご

く気になるなど。そんなのをどうしたものかなということを思っています。

以上です。

【辻野議長】 ありがとうございます。

次は中野委員、お願いできますか。

【中野委員】 私は区老連の代表で来ておりますが、区老連では、今までコロナの影響で中止というのがあったんですけども、できるだけ中止をしないで、どうしたら事業ができるかということで、いろんな対策を練りながら、例えばバスを利用するにしても、今まででしたら1台四十数人乗りましたが、20人程度に抑えて、1人2シートを使って、できるだけ話をしないように、大声を出さないようにということをやりながら、つい2、3日前にもイベントを実施をいたしました。それはなぜかということ、やはり高齢者になってくると、1人で家にじっと籠っていると、どうしても気力が落ちてしまう。そして、何か事故があっても分からない。そういう人たちにできるだけ出てきてもらって、活性化していただくということから、そういうことはできるだけ実施をしようということで、ついこの間も、大阪から淡路島を越えて、四国、道後、そして、しまなみ海道というふうにして、バスで2日間かけて回ってきたわけです。そういうことで、できるだけ危険をうまく抑えてやろうということで実施をしておりました。それは1つ方法としてあると思いますので、御参考までにと。

もう1つ、全く関係のないことなんですが、住吉区は、阪和線の杉本町駅から竜華に至った旧貨物線の現在廃線になっておりますJRの跡地、これが、草が生えた状態でそのままずっと放置してあります。こういうところを何かうまく利用する方法がないかなど。これは常に気になっているんですけども、以前に市大の学生さんも調査されたことがあるようです。その辺、ひとつ区として何か考えていただければと思っております。

以上です。

【辻野議長】 どうもありがとうございました。

旅行の明るい話もちよっとずつ出始めたというところで、市大学生も関わっているということだったんですけども、結構市大も…。私がしゃべる時間と違いますね。

次、浜田委員、お願いできますか。

【浜田委員】 どうぞ。

【辻野議長】 いいですか、すみません、一言だけ。大学の同僚に聞いていると、住吉区文化マップを作っていますとか、授業で結構いろんなことやっている人がいて、「そんな

んやってるんやったら出してくださいよ」というのをこれから私も言っていきたいなと思っているのと、あと、町会もそうなんですけども、若者がどういうふうに地域社会にコミットできるかというのが課題で、この中でも議論があったので、大学生とかと何か一緒にできないかなと思ひまして、区の職員さんに特設授業をここでやらせてもらえませんかとお申ししたら、応えていただいて、お忙しい中、1月ですかね。学生は恐れおののいて数名しか来なかったんですけども、非常に充実した議論ができて、そういうのがあったらぜひ地域社会のためにいろいろ考えてみたりとか、区政だよりとか広報のところもちょっと関心を、全く見ていなかったけど、見ようかなと思ったとか、いろんなことを、ちょっと接点ができると、何かそういうことも出てくるのかなという話になりましたので。あと、3年ぶりのフルスペックの区民まつりが開催されることで、私も参加してみたいなとか思っているんですけども。

すみません、余計なことを申しましたが、浜田委員、お願いできますか。

【浜田委員】 浜田です。

私が最近思っていたのは、自分も事故に遭いかけたんですけど、自転車がとても危険だなというのをすごく感じていまして、自転車は左側通行なんですけど、例えば車を運転されている方はそういう交通ルールをしっかり勉強されているんですけど、そうじゃない方はなかなか分からないので、先日も、私が左側に行って左折するときに、相手が右側で来たので、本当に角でぶつかりそうになって、そういうことが本当に立て続けにあったので、怖いなと思って、今日回覧板が回ってきて、自転車事故が多いと書いてあったので、やっぱりそういうことかなということを感じました。

それで、ここでやっている、電柱に貼ったりとか、いろいろ書いているんですけど、なかなか読まないというか、啓発するのにSNSとか、劇団「やまのうち」協力により動画を用いて見てもらうってなかなかしんどいと思うので、もちろん警察の方と連携しないと駄目かなとも思うんですけど、パトロールをしているときに、詐欺とかのアナウンスがよくあるんですけど、自転車が左側通行というのもアナウンスをしてもらっていたら、乗っているときに気がつくという感じになると思うので、自転車は左側通行でということをもうちよっとPRというか、アピールした方がいいんじゃないかなと思います。

それと、「広報すみよし」も読みやすいと、これは書いているんですけど、何か内容をもう少し充実したものにできたらいいかなと私は思っています。それで、私がここに来るときに見ていると、地域でいろんな取組をされているのが陳列の棚ところに載っていたんで

す。ああいうのが住吉の広報に載っていなかったような気がするので、せっかく住吉区の中で地域別に取り組んでおられることの内容をそこへ載せるようにすれば、お互い住吉区民がそれぞれの地域で頑張っているなということに刺激し合える雰囲気にもなるのかなと思います。

それと、ついでに言うと、一面に大きな写真を載せられると、何か記事載せるのをサボって写真でごまかしているような、私はそういう印象を受けるので、あれと「すみよし」のタイトルをもう少し小さくして、広報紙をもっともっと中身の濃いものにしていただけたらいいかなと私は思っております。

すみません、以上です。

【辻野議長】 どうもありがとうございました。

【福留委員】 先ほどの区役所の説明の中で一番初めに思ったのは、皆さんもおっしゃられていたんですけど、プロセス指標って一体何を基にしてるんやろなというのはすごく思ってた聞いていました。その中でも、特に3番の項目、こども及び子育て世代の支援ということで、貧困の連鎖を断ち切る取組ってすごく大きなものだと思うんですけど、その中で、そこがパーセントというか、出席率になっているのってすごくもったいないなと思いました。実際このコロナで、保護者ということもあると思うんですけど、私、社会福祉施設からの参加をさせてもらっているんで、1つの地域資源だということでは言わせてもらおうと、実際こどもたちの給食支援とかもしたことがあったんですけど、食べられないこどもがいたというのがすごくショックでした。その子たちはどこかネグレクトというところがあったと思うんですね。そのネグレクトの中で、その子たちが学習支援に来ているかといったら、きっと来ていないと思うんです。ということに思ったときに、学ばなかったこどものサポートってどのような形で表せるんやろうかなとか、この2年間学ばなかった子が、学習支援がなくて、学ぶ機会を失ったのであれば、どういうサポートしたらいいのかなとかということも考えていかなあかんのかなというのをすごく思っていました。

スクールソーシャルワーカーさんも頑張っておられるということで、私もその取組の具体的な内容を知らなかったんです。ということでいうと、やっぱりタウンミーティングじゃないんですけども、現場の人の声をどうやって区民の人たちに届けるかということに議論できたらいいなと思って、先ほど先生もおっしゃられていたと思うんですけど、できたら中学生とか高校生の子に来てもらって、実はこういうことに、という話し合いもできたらいいのかなとすごく思いました。不登校の子どもたちを参加させるということだけで

はなくて、その子たちがどうやって今後生きていくかということを見つけられるような、多様性とおっしゃられていましたけれども、あったらいいなとすごく思いました。

だからということではないんですけど、自分も福祉施設の者なので、先ほど防災のこととか、いろいろあったと思いますし、どんなふうに私たちが関わっていけるのかということも考えていきたいなと思いました。

【辻野議長】 ありがとうございました。

中学生とか高校生のこどもの声を聞ける場をぜひつくれたらと思いますので。場所がないというんやったら大学を提供しますので、ぜひまた相談させていただけたらと思います。

次、南委員、お願いできますか。

【南委員】 子ども会をやらせていただいている、こどもの数も減ってきて、子ども会に参加されるこどもさんたちも減ってきているという状況で、特に住吉だけじゃなく、よその区もそうなんですけど、こどもは入りたいんですけど、その親御さんたちがそれを止めて入らせないというのが最近ちょっと増えてきていることもあって、子ども会というか、環境が変わってきていまして、町会離れとかという話も出ていましたけども、昔の子ども会の在り方が都市型になってきて、親御さんたちの意識とか、あと、横のつながりとか、いろいろと希薄になってきているのも1つの要因とかという話も出てきているような感じで、こどももしかりですけど、若い現役の親御さんたちに対する意識も、何かいろんな集まりごとに参加してもらいなり、そういうものができればなということは何か考えたりもしています。

【辻野議長】 どうもありがとうございます。

渡邊副議長、どうですか。

【渡邊副議長】 渡邊と申します。

最初に地域活動協議会ができて10年目というような発言がございましたが、平成25年からだと思いますけど、10年目を迎えておりまして、最初から10年、区の代表をさせていただいておる者としては、50%前後の認知ということで、非常に心苦しく思っておるところでございます。

12地域あるのを御存じだと思いますけど、12地域では非常に、どれだけの活動をされているのかというぐらいしていただいております。それが果たして地域活動協議会の事業かどうかというのを御存じない方もいらっしゃるし、確かに地域活動協議会、知名度もですけど、我々はそれ以上に、地域の活動がなされておればいいんじゃないかと、私は

そう思っておりますし、12地域でどういう活動をしているというような詳細を、こちらで1回御意見をいただいたらどうかなという思いをしております。町会の問題から何から、いろんなことがありますので、またそういう機会があったら、ぜひ皆様方の御意見をいただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

【辻野議長】 どうもありがとうございました。

皆さん、8時までで時間が既にオーバーしてしまっていて非常に申し訳ないんですが、本来ここで切るべきなんですけども、今御発言いただいた方の前に、御質問とかで既に発言されていたんですけども、その方よりも発言されていない方を優先したので、既に御発言されている方でも、併せて御発言という方がいらっしゃったらお願いします。

【榊野委員】 配付資料⑤の30ページなんですけれども、先ほどから一、二名の方、御指摘があったんですが、プロセス指標自体の設定があまりにも高過ぎるとか、何かそういうようなお話もありました。30ページの下の方を見ますと、区民意識調査でパーセントを出していると書いてありまして、これが何とも目標よりもかなり低いんですけども、この区民意識調査はどういうふうな計算を行われたのかなというのが疑問であるということ、これは質問なんです。

それから、次回以降のということに関しまして、住吉の歴史資産を生かしたということ、住吉というのは本当に歴史・文化資産の多いところにして、日本で一番歴史とか文化というと、京都ということになるんだと思うんですけども、実際は京都よりもはるかに、はるかに住吉の方が歴史が古いと。京都の「きよ」の字もなかった時代に、既に住吉というのにはもう文化があったと。あんまりピンとこられないかもしれないんですけども、例えば万葉集には「住吉」という地名が実際入った歌が39首あります。これはもう確認できますし、その頃「京都」という、あるいは「山城」というような地名の入った歌はありません。だから、そういう形で、万葉の昔からもうずっと一貫して住吉というのは文化資産のあるところなんです。

それを区民の方にどうこうという前に、区役所の職員の方は多分住吉にお住まいでない方のほうが圧倒的だと思いますので、区役所の職員の方にまずもっと私は知ってほしいなと。協力をいたしますので、そういう知る努力をする機会をできるだけつくっていただきたい。それから、小学校への出前事業も私どものNPO法人でやっておるんですけども、それ以外に、中学校、高校でもやったことがございますし、それから、大阪市立大学時代の地域連携という形で、市大の入学生に対してもやったことがございますので、そういう

ことで、私どもも歴史案内人の会ということで十数年活動してきております。地域の文化資産の紹介という点では御協力できますので、何か積極的な施策を考えていただきたいなと思っております。

以上です。

【辻野議長】 非常に心強い言葉をいただきましてありがとうございました。御質問も含まれていましたので、先に御発言を集めた後に、回答可能な範囲で、後でお願いしたいと思えます。

ほかに御発言いただける委員の方々、いかがでしょうか。

【山本委員】 すみません、2回目の発言で申し訳ございません。

実は2つ提案というか、こんなことをしてみたらいいなというところでお話ししたいなと思ったのが、せっかく皆さん、いろんな背景を持たれている方がいるので、住吉の兆しというか、今、キーワードとして思われていることを皆さんに聞いてみたいなという思いがあったりしましたというのと、あともう1つが、インフラ会社、Osaka Metro、あと、南海の話をもしお呼びして聞けたりするんやったら、1回聞いてみたいなというのを個人的に思っていて、というのが、私、本業はというか、専門でやっているのがリノベーションまちづくりということをまちづくりの関係でやらせていただいています、それって何かというと、地域資源を活用して、まちの、地域の経営課題を解決するまちづくりというのをふだんやらせてもらっています。

その中で、今住吉で僕が勝手に思っているキーワードが、まず公園がすごいなと。本当に住吉区に住んでいてよかったなと思うのが、長居公園と住吉公園が今すごいなと思っていて、住吉公園は府営の公園と思うんですけども、E-DESIGNさんとRETOWNさんが指定管理を取られたというところで、多分すごいおしゃれなカフェができるなど。これはなかなか日本でも珍しいようないいものになると思うので、すごい期待しているのと、あと、長居公園の方で、植物園に新たにチームラボさんが来られるというのも、これはすごい日本では珍しいことなので、すごい期待しています。

そういったところであるとか、あとは、あびことか長居の駐輪の話が出ていましたけれども、Osaka Metroが国交省の第1回まちづくりアワードという全国的な賞を多分取られたはずなんですよね。すごい注目されているエリアであって、それで住吉の兆しというか、これからどんどんよくなるだろうな、住吉区、すごいな、住んでいてよかったなみたいなポイントって多分いっぱいあると思うので、そういうのを皆さんがどう思われているのか

なというのを聞きたいし、どちらのところも近くに鉄道とかがあるので、インフラ会社って結局まちづくりに必ず関わっていただかないといけないところだと思うので、そういったところで、もし意見が聞ける機会があれば、聞かせていただけたらありがたいなというのは思っていました。何がしたいかという、本当、住吉区に住んでいてよかったなと思ったので、それだけ言って帰ろうと思いました。ありがとうございます。

【辻野議長】 いや、もう本当に職員の方々も、どれだけ報われたことかというような御意見をいただいて、別のまちの職員さんが来て、公募で委員になってくださること自体がありがたいですけども、そういうアウトサイダーの視点で見ていただくというのは本当に貴重だなと思います。

せっくなので、今みたいな発言が聞こえないというのはもったいないので、ぜひこの機会にいかがでしょう。よろしいですか。

先ほどのアンケート、パーセントを見ると、区政会議の活性化、不活性だと言われているんですけど、前回もそうなんですけど、時間が足りないんですよ。これを職員に聞いたら、前期の調査を基にしているの、今期ではないのですね。なので、その辺のずれがあるのかなという気がしているんですけども、取りあえず意見はまだまだ、多分時間があれば恐らく発言されることが山ほどあるような方々ばかりなので、その辺の運営も考えていきたいなと思います。よろしくお願いします。時間がオーバーしてしましまして本当に申し訳ございませんでした。

それでは、その他事項に入りますね。区役所から説明をお願いします。その際、先ほど梶野委員から、区民意識調査はどうやっているのかという御質問があったんですけども、可能な範囲で回答をお願いします。

【新熊（司会）】 まず、区民意識調査について回答いたします。

【長船政策推進課長】 政策推進課長の長船でございます。

区民意識調査についての回答でございます。区民意識調査は、インターネットのモニターアンケートとして、毎年2月、18歳以上の住吉区民を対象に、各年代偏らないように配慮した上で、400名からいただいたアンケート調査ということになっております。

【辻野議長】 ありがとうございます。

その他事項で、区役所からお願いします。

【新熊（司会）】 司会より説明させていただきます。

次第の5番、その他ということで書かせていただいております。

まず1点目、第2回住吉区区政会議開催日程ということで、次回は令和4年9月6日火曜日ということで、同じく6時30分から開始予定となっております。よろしくお願いいたします。

その他事項の2点目、各会議開催日程でございますが、令和4年度第1回住吉区防災専門会議につきましては、明日、6月29日に開催いたします。

また、令和4年度第1回住吉区地域福祉専門会議につきましては、あさって、6月30日に開催予定となっております。

令和4年度第1回住吉区総合教育会議につきまして、令和4年8月開催予定と書かせていただいておりますが、8月25日木曜日に決定しておりますので、よろしくお願いいたします。

説明の方は以上となります。

【辻野議長】 ありがとうございます。

それでは、ここで、議員の方も来られているので、一言ずつお願いできればと思うということと、その後、区長の総括コメントをいただけたらと思います。時間が押してすみませんが、よろしくお願いいたします。

【伊藤議員】 市会議員の伊藤です。

お疲れさまでした。時間の関係で手短に2点だけ意見させていただきたいんですけども、1点目が、今住吉区の区政会議というのが、防災、福祉、教育で大きく議論されていると思うんですけども、環境という部分も今後議論を深めていただきたいと思います。住吉区は特定の野鳥が増え過ぎて、ごみが散乱しているのがすごくよく見受けられるんです。あと、大阪市の路上喫煙の禁止地区が住吉区にはないんですけども、区単独で何かできないかなというのすごく思いますので、今後環境という視点でも議論をこの場でしていただけないかなというのが1点と、もう1点なんですけども、区政会議を今後もっと活性化していくというところで、ぜひ前回、前々回みたいなことがないように、オンライン開催をここでぜひ先に進めていただけないかなと思います。

以上でございます。ありがとうございました。

【辻野議長】 どうもありがとうございました。

【井上議員】 市会議員の井上でございます。

区政委員の皆さん、また、職員の皆さん、大変お疲れさまでございました。大変貴重な御意見の数々をお聞かせいただきましたので、今後の議会活動にしっかり活かしてまいり

たいと思っております。

田中委員の先ほどの御発言をお聞きしまして思ったんですけれども、「風かおる“みち”」の阪和線の高架跡地の工事が今進捗しておりますけれども、今後のスケジュールでありますとか絵姿、これをぜひ区政だよりを使って区民の皆さんにお知らせいただいたらどうかなど。どんなふうに今後まちが変わっていくのか、まちづくりが進んでいくのかという情報提供をぜひしていただいたらどうかなど。御検討いただければと思います。

それから、情報発信の機能強化の点で委員の皆さんから様々御意見がありましたけれども、若い世代に関心のある内容についても調査し、とあるんですけれども、例えば広報の4月号に、長居植物園が開園しますということで、スケボー広場、これができましたという情報があるんですけど、本当僅かなスペースなんですよね。若い皆さんにしたら、こういう情報がほしいんですよ。こういう情報をしっかり若い皆さんに提供するような紙面の改善といいますか、ミナミの方なんかでは歩道でスケボーをやっている子たちがいるんですよ。あの子たちが住吉に住んでいたなら長居公園を使えるのになと思いつつも見ているんですけど、こういう情報発信をぜひ工夫していただければなと思います。区政会議の状況もこの間ずっと載せていただいていますので、今日の様子もぜひ大きく載せていただきたいなと思います。

最後なんですけれども、伊藤先生の方からもお話がありましたけれども、ハト、カラスのエサやりの問題を、4月号、5月号、6月号にもずっと載せていただいているんですけど、ちょっと小さいなと思いますので、5月号は結構スペースを割いて載せているので、これぐらい大きく毎回載せていただきたいと思うんです。5月号には、カラスネット、防鳥ネットの貸出しをしていますよという情報提供をしているんですよ。これを案外知らない方が多いんですよ。こういうのをやっぱり地域に推奨していくというか、連絡してくれたら貸出しますよじゃなくて、むしろ町会とも相談して普及を推奨するような立場に立っていただきたいと思うんです。今目立って大量にエサまきをする光景はあまり見受けられなくなりましたが、でも、目立たないようにエサやりグループがやっているみたいなので、その影響で一般ごみの日なんかは相当あちこちでカラスが暴れています。そういう状況があるので、やっぱり防鳥ネットを、町会と相談していただいた上で、各地域に普及していくということ、ぜひ旗を振っていただきたいなと思います。

以上です。ありがとうございました。

【辻野議長】 どうもありがとうございました。

最後、区長、お願いします。

【平澤区長】 皆さん、長時間にわたりまして貴重な御意見をいただきまして本当にありがとうございました。

この区政会議、このところずっと1時間半でやっておりますけども、それ以前は2時間程度やっております、コロナの状況も大分落ち着いてきましたので、本当に議論していただけるように、じっくり時間を取ってまいりたいと考えております。今日、皆さん、この後の御予定もあるのに、延びてしまって大変申し訳なかったんですが、今後時間の方はゆとりを取りまして、議論できるような時間は確保してまいりたいと考えております。

本日、本当にいろいろ御意見いただきまして、非常に我々といたしましても有意義な御意見をいただけたと思っております。特にいろいろ皆さんが関心をお持ちの話、防災のこととありますとか、町会の関係の話とありますとか、あるいは、環境でいいますと、JRの跡地の部分ですとか、また、コロナについて、やっぱり中止せずにどうにかして事業をやっていききたいという御発言もあって、区役所といたしましても、今年は区民まつりをフルスペックでやっていこうと。感染状況を踏まえて、できないことは、ある程度縮小はやむを得ないこともあるかもしれないけども、やっぱりできることは工夫してやっていきたいということで進めてまいりたいと考えておりますので、同じようなお考えを持っていたているのかなと思ひまして、非常に心強く思ったところでございます。

また、自転車非常に危険というあたりも、非常に我々も問題意識を持っておりまして、いただいた意見も参考に、また進めてまいりたいと考えておるところでございます。

また、指標の置き方につきましては、なかなか数値で測れないもの、特に子育てとかこどもの対策についてはなかなか数値で測れない部分もあろうかと思ひますけども、運営方針ということで、一旦数値で置いておりますが、数値の達成だけを全ての目標とするのではなくて、やはり内容の充実もきっちり努めてまいりたいと考えております。また、そういった面につきましても、こちらで御意見をいただければ大変ありがたいかなと思ひておるところでございます。

最後、山本委員におっしゃっていただいた、住吉をキーワードとして皆さん、どんなことを思っているのかなという点について、今日も大分いろんな御意見をいただいて、いろんな面で本当に住吉のことをいろいろ考えていただいているんだなと非常に思ったところです。今日いただいたいろんな御意見も踏まえて、また次回の区政会議でどういったことが議論できるかを考えていきたいと思ひておりますので、今後ともどうぞよろ

しくお願いしたいと思います。

また、伊藤先生からいただきましたオンラインの開催につきましては、前回からもオンラインでも開催できるということで毎回一応希望調査をさせていただいております。今回、皆さんおそろいいただきましたけども、今後、御家庭の事情等で、オンラインで参加したいという委員の方がいらっしゃいましたら、毎回オンラインでも開催できるような形で整備しておりますので、遠慮なくおっしゃっていただけたらと思っているところでございます。

また、広報の発信につきまして井上先生からの御意見をいただきましたが、若い人が注目するような中身を取り上げるですとか、また、ハト、カラスにつきましては、今も引き続き、エサをやっている方もいらっしゃるということで、夜間や深夜のパトロールなどもさせていただいているところですが、区民の皆さんへの注意喚起ということで引き続き進めてまいりたいと考えておるところでございます。

本日いろいろ御意見をいただきまして本当にありがとうございます。また引き続き活発な議論ができることを期待しておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

【辻野議長】 どうもありがとうございました。

長くなりましたけれども、全ての議事が終了しました。委員の皆様にも、円滑な議事進行に御協力いただきまして本当にありがとうございました。恐らくお話し切れなかった方がとても多いと思うので、もし御意見とかがありましたら、ぜひお寄せいただいたりとか、あと、御発言を聞いていると、一、二分でもいいからプレゼンをしてもらった方がいいんじゃないかみたいな、すごい提案を秘めておられるようなことも感じたんですけども、もしそういう方がいらっしゃったら、紙1枚でも結構です。例えば何か事前にお送りいただけたら、それを配布できるようにするとか、そういう形も取れますので、遠慮なく声をかけていただけたらと思います。

長時間になりました、本当に申し訳ありませんでした。では、お返しします。

【新熊（司会）】 辻野議長、どうもありがとうございました。

これで、令和4年度第1回住吉区区政会議を終了いたします。本日は誠に長時間にわたり皆様どうもありがとうございました。

— 了 —